

校長通信 その3

予想していたこととはいえ、臨時休業延長のお知らせをしなければならなくなりました。また、断腸の思いで多くの行事について中止の判断をしました。(詳細は4月30日付で専用サイトに掲載した「臨時休校の延長について」のプリントを、保護者の方と一緒に読んでください。)特に舟入祭は、一般公開をせず三密を避ける形で何とか実施ができないかと生徒会総務の皆さんにも時間をかけて考えてもらっていたところでしたが、どうやっても三密状態ができる可能性が高いこと、準備に十分な時間を割くことも困難であることからやむなく中止の判断をしました。一生懸命考えてくれた皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。ごめんなさい。

長い休校期間を過ごす中で、生徒の声として、「教科でわからないことを質問したいのだがどうすれば良いか」という声が上がっていることを聞いています。今できる方法の例を3つ下に挙げます。

- ① 学校に電話して質問したい教科に繋いでもらい、電話で質問をする。
- ② 質問事項を郵送する。返信が欲しい場合には返信用の封筒に宛名と切手貼付も忘れず。
- ③ 英語 e-learning 「ぎゅっとe」の Contact Us 機能を利用する。

現在先生たちも感染リスク低下のための在宅勤務等により学校に不在の場合があるため、①②の場合は「〇〇先生」と名指しにせず、「数学科」「国語科」宛にしてもらおうとその日に在校している先生が対応してくれます。また、自分が何年生であるかを明らかにしておくとい良いでしょう。

さて、世の中ではにわかに「9月入学」を視野に入れた議論が進み始めましたが、皆さんはどう考えますか？単純に時期をずらすだけの問題ではなく、超えるべきハードルはたくさんありそうです。ただ、はっきりとしているのは、既に皆さんは舟入高校の生徒であるということです。「舟入が舟入であるために」、私たち教員に今できることは、常に皆さんのことを気かけ、条件が限られた中でも様々な工夫を凝らしながら、可能な限り皆さんの期待や要望に応えようと努力することです。そして生徒の皆さんが今できることは、授業日と同じ時間に起き、時間割通りに学習を行い、適度に体を動かしてストレスを発散することです。自分の力ではどうしようもないことにイライラせず(なかなか難しいけれど)、今自分ができること、やるべきことに淡々と取り組みましょう。今の状況には必ず終わりがきます。

しかし、どうしようもない不安にかられたり、イライラして家族に八つ当たりをしてしまったり、悲しくて涙が出たり…という人は、担任の先生に電話をしても良いですし、上記の臨時休業延長に関するお知らせプリントにも記入したように、スクールカウンセラーの横目先生に電話相談をすることもできます。082-232-1275(専用電話)に電話をすると、保健室の先生が出られて、予約を入れることができます。自分がしんどいと思っていることを話すだけでも気が楽になることもありますから、頼ってみてください。



今日のひと言: The night is long that never finds the day.

明けない夜はない ~シェークスピア

街中では満開の姿が見られるハナミズキも、なぜか本校では花の数が少ないのですが、それでも数輪の花が健気に空を仰いで咲いています。(写真中央)